



ウェブサイトを活用した 生物多様性情報の収集・提供の新たな取り組み

環境省自然環境局生物多様性センター 調査科



ズックちゃん

新しいシステムは
「いきものログ」と呼んでください。

環境省自然環境局生物多様性センターでは、

自然環境保全基礎調査やモニタリングサイト1000等により生物多様性情報を収集しており、これらの調査成果は生物多様性情報システム「J-IBIS」で広く国民に提供されている。

また、「いきものみっけ」ではウェブサイト上で一般市民から生物情報の提供を受けている。

当センターでは、今般新たに、当センター・都道府県・地方自治体・専門家・一般市民など、それぞれの主体が所有する生物多様性情報を集約して

データベース化して提供する機能をそなえた新システム「いきものログ」を制作中である。

「いきものログ」では、情報を提供する各主体がウェブサイトから情報を直接入力することができ、

入力された情報はシステムの中に蓄積されデータベース化される。

生物名については実装されている「生物名データベース」に参照されることから正確さが担保される。

「いきものログ」には情報提供主体間の交流ページ、同定依頼ページ等があり、情報提供主体をより呼び込める仕掛けがある。

「J-IBIS」は既に当センターが所有している生物多様性情報を提供するシステムであるが、

「いきものログ」は情報提供機能に加え一般市民からの情報収集を受ける機能もそなえている。

一般市民から生物情報の提供を受けるという点では「いきものみっけ」の後継としても利用可能である。

また、専門家から情報の提供を受ける機能に重きを置いており、専門家相互の情報交換ツールとしての利用が期待される。

さらに、「いきものログ」ではデータベース化された情報の検索を、フリーワードや地図等から簡便に行うことができ、

様々な絞り込み検索を行うことにより生物多様性情報を入手することができる。

検索した生物多様性情報を地図上に表示したり、Darwin Core形式で出力したりすることができるなど、より広い用途に対応している。

「いきものログ」は、幅広く利用され、各方面からの期待に応えられるようなシステムを目指して、平成25年春に供用開始を予定している。



新しい生物情報収集・提供システムの特徴

検索する

各種データを
検索・閲覧できます。



データベースに蓄積された
生物多様性情報を
フリーワードや地図から
検索、閲覧できる。

交流する

各種団体・研究者等の
情報を閲覧できます。



団体の活動情報を
投稿できるページがあり、
情報交換をすることができる。

おしえて！
これなあに？

なんだか分からない
生き物を見つけた時

不明な生物の種類を専門家が同定します



生物名が
わからないものに対して
専門家が同定を補助してくれる
ページがある。